

令和7年度 山形県病院事業会計決算の概要【経常収支は8億6,200万円の黒字】

令和8年7月
病院事業局

1 病院事業合計

(1) 入院及び外来の概況

		令和7年度		
			増減	増減率
入院収益	a	23,154	1,154	5.2%
入院患者延数	b	357,696人	3,860人	1.1%
入院診療単価	a/b	64,730円	2,554円	4.1%
平均在院日数		14.6日	0.2日短縮	
病床利用率		87.5%	5.5pt上昇	
外来収益	c	9,840	270	2.8%
外来患者延数	d	511,935人	▲1,092人	▲0.2%
外来診療単価	c/d	19,221円	567円	3.0%

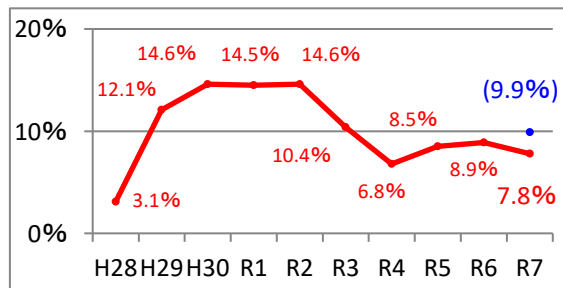
(2) 損益の概況

		令和7年度		
			増減	増減率
総収益	A	47,677	2,957	6.6%
経常収益	B	47,460	2,820	6.3%
医業収益	C	33,770	1,458	4.5%
医業外収益		13,690	1,362	11.0%
(うち一般会計繰入金)		(11,035)	(864)	(8.5%)
特別利益		217	137	171.3%
総費用	D	46,668	1,092	2.4%
経常費用	E	46,598	1,355	3.0%
医業費用	F	44,269	1,270	3.0%
(うち給与費)		(23,439)	(30)	(0.1%)
(うち材料費)		(10,295)	(848)	(9.0%)
(うち経費)		(7,427)	(387)	(5.5%)
(うち減価償却費)		(2,724)	(107)	(4.1%)
医業外費用		2,329	85	3.8%
特別損失		70	▲263	▲79.0%
医業収支	C-F	▲10,499	188	—
総収支	A-D	1,009	1,865	—
経常収支	B-E	862	1,465	—

(参考) 資金不足比率の推移

病院事業会計は、平成28年度から資金不足が生じ、平成29年度には資金不足比率が10%を超えたため、「資金不足等解消計画」を策定し、経営改善に取り組んでいる。

令和7年度の地方財政法による資金不足比率は、令和7年度2月補正予算時の見込み9.9%に対し、7.8%となった。



2 中央病院【経常収支は10億7,800万円の黒字】

(1) 概要(R7.4.1)

山形県の高度・専門医療の拠点
○診療科:34科
○稼働病床数:507床



(2) 入院及び外来の概況

		令和7年度		
			増減	増減率
入院収益	a	14,711	752	5.4%
入院患者延数	b	154,559人	▲2,970人	▲1.9%
入院診療単価	a/b	95,180円	6,568円	7.4%
平均在院日数		9.9日	0.2日短縮	
病床利用率		86.1%	7.3pt上昇	
外来収益	c	5,893	142	2.5%
外来患者延数	d	236,386人	▲2,346人	▲1.0%
外来診療単価	c/d	24,930円	843円	3.5%

(3) 主な設備投資 (単位:百万円)

- 無停電電源装置等更新工事 (R5～7債務負担) (230)
- 医療機器等の整備 (698)
 - ・ナースコール設備のデジタル化及び院内スマートフォンの導入 (227)
 - ・心臓の血管の撮影や治療等を行う循環器撮影装置 (191)
 - ・手術用顕微鏡 (30) 等

(4) 経常収支の概況

		令和7年度		
			増減	増減率
医業収益	A	21,074	914	4.5%
医業外収益	B	7,072	1,688	31.4%
(うち一般会計繰入金)		(5,782)	(1,270)	(28.1%)
医業費用	C	25,711	1,107	4.5%
医業外費用	D	1,357	59	4.5%
医業収支	A-C	▲4,637	▲193	—
経常収支(A+B)-(C+D)		1,078	1,436	—

《主な増減要因》

- 医業収益〔+914〕
 - ・診療単価の増による入院及び外来収益の増〔入院：+752、外来：+142〕

○医業外収益〔+1,688〕

- ・一般会計繰入金の増〔+1,270〕
- ・賃上げ・物価対策等の補助金の増〔+219〕

○医業費用〔+1,107〕

- ・高額医薬品や手術の増等による材料費の増〔+723〕
- ・給与改定による給与等の増〔+478〕
- ・退職手当の支払い及び年度末要引当額の減等による退職給付費の減〔▲572〕
- ・労務単価の上昇等による経費の増〔+266〕

4 河北病院【経常収支は1億7,400万円の赤字】

(1) 概要(R7.4.1)

西村山地域の医療を支える中核病院
○診療科:17科
○稼働病床数:106床



(2) 入院及び外来の概況

		令和7年度		
			増減	増減率
入院収益	a	1,351	2	0.1%
入院患者延数	b	30,686人	2,292人	8.1%
入院診療単価	a/b	44,010円	▲3,498円	▲7.4%
平均在院日数		15.9日	0.7日増加	
病床利用率		84.1%	13.4pt上昇	
外来収益	c	890	43	5.1%
外来患者延数	d	69,149人	1,221人	1.8%
外来診療単価	c/d	12,869円	400円	3.2%

(3) 主な設備投資 (単位:百万円)

- 医療機器等の整備 (855)
 - ・総合医療情報システムの更新 (817)
 - ・生体情報モニタシステム (12) 等

(4) 経常収支の概況

		令和7年度		
			増減	増減率
医業収益	A	2,290	51	2.3%
医業外収益	B	1,596	▲196	▲10.9%
(うち一般会計繰入金)		(1,433)	(▲264)	(▲15.6%)
医業費用	C	3,906	▲66	▲1.7%
医業外費用	D	154	11	7.7%
医業収支	A-C	▲1,616	117	—
経常収支(A+B)-(C+D)		▲174	▲90	—

《主な増減要因》

- 医業収益〔+51〕
 - ・患者延数の増等による入院及び外来収益の増〔入院：+2、外来：+43〕

○医業外収益〔▲196〕

- ・一般会計繰入金の減〔▲264〕
- ・賃上げ・物価対策等の補助金の増〔+32〕

○医業費用〔▲66〕

- ・退職手当の支払い及び年度末要引当額の減等による退職給付費の減〔▲249〕
- ・給与改定による給与等の増〔+104〕

3 新庄病院【経常収支は4億円の黒字】

(1) 概要(R7.4.1)

最上地域唯一の基幹病院
○診療科:28科
○稼働病床数:315床



(2) 入院及び外来の概況

		令和7年度		
			増減	増減率
入院収益	a	5,336	334	6.7%
入院患者延数	b	102,811人	3,159人	3.2%
入院診療単価	a/b	51,898円	1,707円	3.4%
平均在院日数		15.3日	0.4日短縮	
病床利用率		89.4%	1.6pt上昇	
外来収益	c	2,745	67	2.5%
外来患者延数	d	171,268人	▲483人	▲0.3%
外来診療単価	c/d	16,030円	435円	2.8%

(3) 主な設備投資 (単位:百万円)

- 医療機器等の整備 (56)
 - ・超音波等で肝臓の硬さと脂肪量を計る肝臓検査装置 (10)
 - ・内視鏡用超音波観測装置 (9) 等

(4) 経常収支の概況

		令和7年度		
			増減	増減率
医業収益	A	8,324	409	5.2%
医業外収益	B	3,871	▲239	▲5.8%
(うち一般会計繰入金)		(2,940)	(▲177)	(▲5.7%)
医業費用	C	11,104	191	1.8%
医業外費用	D	691	15	2.2%
医業収支	A-C	▲2,780	218	—
経常収支(A+B)-(C+D)		400	▲36	▲8.3%

《主な増減要因》

- 医業収益〔+409〕
 - ・診療単価の増等による入院及び外来収益の増〔入院：+334、外来：+67〕

○医業外収益〔▲239〕

- ・一般会計繰入金の減〔▲177〕
- ・賃上げ・物価対策等の補助金の増〔+165〕

○医業費用〔+191〕

- ・給与改定による給与等の増〔+345〕
- ・退職手当の支払い及び年度末要引当額の減等による退職給付費の減〔▲132〕
- ・医療機器の保守等に係る経費の増〔+114〕
- ・高額医薬品の増等に伴う材料費の増〔+105〕

5 こころの医療センター【経常収支は1億5,700万円の赤字】

(1) 概要(R7.4.1)

本県の精神科医療の基幹病院
○診療科:3科
○稼働病床数:213床



(2) 入院及び外来の概況

		令和7年度		
			増減	増減率
入院収益	a	1,756	66	3.9%
入院患者延数	b	69,640人	1,379人	2.0%
入院診療単価	a/b	25,222円	457円	1.8%
平均在院日数		119.9日	19.8日短縮	
病床利用率		89.6%	1.8pt上昇	
外来収益	c	312	18	6.1%
外来患者延数	d	35,132人	516人	1.5%
外来診療単価	c/d	8,866円	362円	4.3%

(3) 主な設備投資 (単位:百万円)

- 医療機器等の整備 (9)

(4) 経常収支の概況

		令和7年度		
			増減	増減率
医業収益	A	2,082	84	4.2%
医業外収益	B	1,099	74	7.2%
(うち一般会計繰入金)		(846)	(16)	(1.9%)
医業費用	C	3,224	39	1.2%
医業外費用	D	114	0	0.0%
医業収支	A-C	▲1,142	45	—
経常収支(A+B)-(C+D)		▲157	119	—

《主な増減要因》

- 医業収益〔+84〕
 - ・患者延数及び診療単価の増による入院及び外来収益の増〔入院：+66、外来：+18〕

○医業外収益〔+74〕

- ・賃上げ・物価対策等の補助金の増〔+48〕
- ・一般会計繰入金の増〔+16〕

○医業費用〔+38〕

- ・給与改定による給与等の増〔+106〕
- ・退職手当の支払いの減等による退職給付費の減〔▲82〕